

《担当者名》百々 尚美 (ndodo@hoku-i-ryo-u.ac.jp)

【概要】

心理学において科学的 research を行うことの意義を理解し、実験法、調査法、観察法等の主要な研究手法について概観するとともに、各手法に関する専門的知識を身につける科目である。

【学修目標】

心理学の研究を理解し実践するための様々な知識やスキルを身につける。
 公表された研究成果を調べる手順を身につけることができる。
 科学的 research とは何か、心理学で用いられる主要な研究手法を説明できる。
 心理学の研究計画を立案することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	心理学研究法の基礎	科学的心理学について概説する。	百々 尚美
2	実証の手続き	操作的定義について概説する。 相関関係と因果関係について概説する。	百々 尚美
3	研究成果の公開方法	研究成果の公開の仕方を知る。	百々 尚美
4	文献データベース検索	文献データベースの使い方を身につける。(興味のある研究を探す/キーワードを収集する/インターネット上で学術情報を見つける方法を知る/コンテンツ・アラート・サービスを活用する)	百々 尚美
5	研究法 -実験法-	心理学で用いられる研究手法を概説する。 変数(独立変数、従属変数、剰余変数)について概説する。	百々 尚美
6	研究法 -実験法と準実験法-	実験室実験と質問紙実験、現場実験と自然実験について概説する。 準実験(横断的方法と縦断的方法)について概説する。	百々 尚美
7	研究法 -調査法-	調査法(質問項目と回答方法、質問表の構成)について概説する。	百々 尚美
8	研究法 -観察法-	自然観察法と実験観察法について概説する。	百々 尚美
9	研究法 -面接法-	面接法について概説する。	百々 尚美
10	データを用いた実証的な思考方法	データを用いた実証的な思考方法を概説する。	百々 尚美
11	データを用いた実証的な思考方法	研究計画を立案するために必要な定量的研究について概説する。	百々 尚美
12	データを用いた実証的な思考方法	実際に研究計画を立案し、実現可能性、研究の妥当性、信頼性を吟味する。	百々 尚美
13	データを用いた実証的な思考方法	研究を行い得られたデータを数量化し、統計的検定を行う。 統計的記述について概説する。	百々 尚美
14	データを用いた実証的な思考方法	実験結果のまとめ方について概説する。	百々 尚美
15	研究における倫理	倫理原則について概説する。 研究の不正行為について概説する。	百々 尚美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

講義で行う小テストの結果（20％）、また課題への取り組み方や内容の優劣（40％）、期末試験（40％）を総合して評価する。
なお、未提出課題がある場合は単位を認定しない。また、期限を過ぎての提出は減点の対象となる。

【教科書】

適宜プリントを配布する。

下山晴彦．(2014)．誠信心理学辞典．

【参考書】

下山晴彦 監修 「心理学研究法」ミネルヴァ書房 2020年

執筆・投稿の手びき 2022年版 日本心理学会 <https://psych.or.jp/manual/>

【備考】

1. 学習教材（授業資料）の配信、学習課題の提示
 - ・ 授業資料の配信はGoogle Classroomを利用して学習課題を提示する
2. 授業に関する学生相互の意見交換やグループ学習の実践
 - ・ 学生相互の意見交換を目的にGoogle Classroomを活用する
3. 任意の時間での授業の受講
 - ・ Google Classroomを利用したオンデマンド型授業を行う
4. 授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用
 - ・ Google Formを活用し、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する
5. 欠席回数について
 - ・ 各自で責任を持って管理すること(欠席回数についての問い合わせには原則応じない)。
6. 課題について
 - ・ 課題の提出締切を厳守すること(遅延の場合は課題の評価は減じられる)
 - ・ 課題内容において、剽窃などの不正がなされることは極めて低劣な行為であり、いかなる事情があろうとも忌避されるべきものである。そのような不正が発覚した場合、あるいは強く疑われる場合には、以降、その学生からの提出物は評価の対象から除外する。

【学修の準備】

1. 予習について
 - ・ シラバスの内容を参考に、参考書および講義資料を熟読し、講義内容を予習すること（20分）
2. 復習について
 - ・ 講義内容を見直し、不明な点は関連書籍をもとに確認し、理解を深めておくこと（20分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP2. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。

DP3. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての医療・福祉・教育での実務経験を活かし、臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している